

アクアプラン川口21～川口市地域水道ビジョン～ 川口市水道事業長中期経営計画改訂にあたり

アクアプラン川口 21～川口市地域水道ビジョン～ 川口市水道事業長期経営計画・川口市水道事業中期経営計画は、川口市水道事業が目指す理想の姿と、これを実現するための道筋を明らかにするために平成 20 年に策定した中・長期経営計画です。

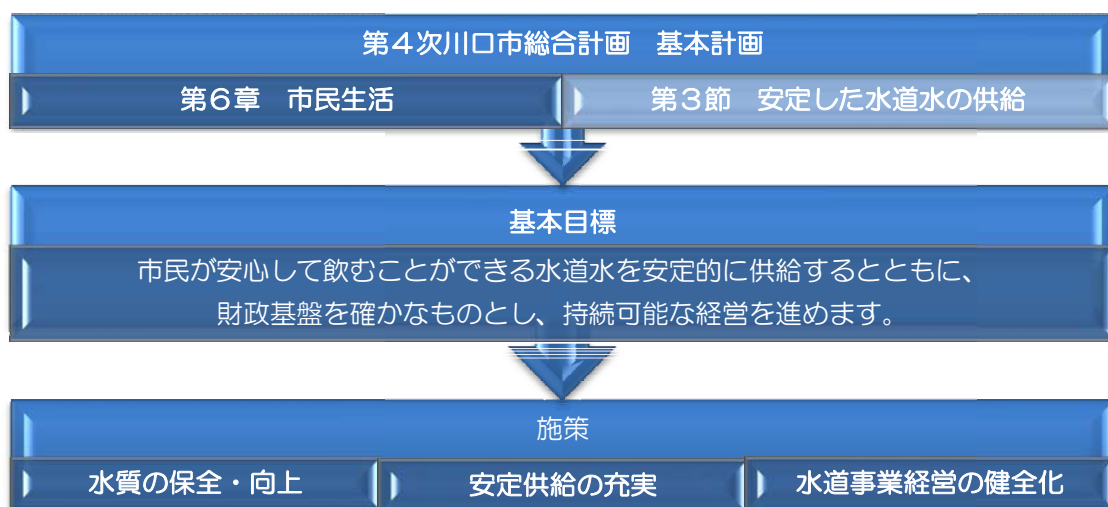
この計画の策定にあたっては、川口市上下水道事業運営審議会の委員の皆様による、多角的な検討が加えられました。また、WEB アンケートによるお客様の声を収集・分析し、水道事業に対する職員全員の” 思い” を集約した企業の理想の姿を導き出すとともに、内部要因・外部要因の分析（SWOT 分析¹）などの工程を経て、取り組んでまいりました。

策定から 3 年を経過し、この間に上位計画である「第 4 次川口市総合計画」が新たに策定されるなど本市行政においても、日々変化する社会環境に対応してきました。水道事業においても、さまざまな水需要にこたえ、社会・経済情勢の変化に的確に対応し、危機管理体制の整備、水道施設の耐震化、窓口業務の民間委託化など効率的な運営のもと、安全・安心なサービスをお届けするために、計画に基づく経営戦略を見直し、内容を新たに方向性をお示しするものです。

計画の位置づけ

【第 4 次川口市総合計画との関係】

アクアプラン川口 21 は、平成 20 年の策定時には、川口市の最上位計画である「第 3 次川口市総合計画」（目標年次平成 22 年）の基本理念をもとに指針を示しています。改訂版においては、平成 22 年 4 月策定の「第 4 次川口市総合計画」（目標年次平成 34 年）における、めざすべき姿「やすらぎのあるまちづくり」のもと「安定した水道水の供給」を基本理念として掲げています。



¹ SWOT 分析：第 2 編基礎資料Ⅱ 参照

【厚生労働省 「地域水道ビジョン」との関係】

平成16年に厚生労働省が「世界のトップランナーを目指しチャレンジし続ける水道」を基本理念として取り組みを発表した「水道ビジョン」に基づき、平成22年4月現在、658事業体（全国の水道事業体の43%）において「地域水道ビジョン」が整備されています。水道事業の課題を分析し地域の事情に即した、事業体としての将来像を掲げるため、「安心」「安定」「持続」「環境」「国際」を政策目標に長期構想を計画することを勧めています。

アクアプラン川口21は、この政策の柱を基礎とし、独自の経営視点から将来あるべき理想の姿を描き政策目標を示した、川口市の「地域水道ビジョン」です。

【「川口市行政改革大綱」及び「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」などの関係】

本市においては、平成22年に「第三次川口市行政改革大綱」が「第4次川口市総合計画」と計画期間を同じく策定され、これまでの行財政改革の方向性を踏まえ、時代変化に対応したより一層効率的な行財政運営を確実に進めています。この大綱では、水道事業においても、「公営企業の経営健全化」の改革項目において、合理化や自立性の強化などを示し、総務省では「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、財政状況の公表、抜本改革などを推奨しています。

アクアプラン川口21では、これらの内容に対応し、経営健全化における取り組み、施策・事業を具体化するための目標数値、財政収支計画を明示しており、事業評価の実施、次期計画策定への反映などの仕組みを定着させた「経営計画」となっています。



